

質問事項	質問の要旨
<p>1 自立型エネルギー整備、学術研究拠点構築は</p>	<p>もうすぐ3月11日。震災後丸3年を迎えます。福</p>
	<p>島原発はアンダーコントロールどころか、一向に解</p>
	<p>決の目途がたっていません。</p>
	<p>それにもかかわらず、女川原発2号機は、昨年、</p>
	<p>安全審査申請がなされ、1月16日に審査入り、と新</p>
	<p>聞で大きく報道されました。過去30年余にスリーマ</p>
	<p>イル、チェルノブイリ、福島と3度も大事故を経験</p>
	<p>しながら、目を逸らし、教訓を学んでいないように</p>
	<p>思えます。</p>
	<p>私は、原発を廃炉にし、再生可能エネルギーへの</p>
<p>転換をすべきと訴えてきました。そこで、震災後23</p>	
<p>年9月に出された「女川復興計画」について伺いま</p>	
<p>す。</p>	
<p>(1) 復興方針、「安心・安全な港町づくり」の中に、</p>	
<p>自立型エネルギーの整備とありますが、太陽光</p>	
<p>パネルへの補助のほか、今日まで具体的にどの</p>	
<p>ようなことを進めてきたのですか。</p>	
<p>各地でバイオマス発電、小水力発電、間伐材</p>	
<p>の利用が取り組まれているなか、女川でも積極</p>	
<p>的に取り組むべきではありませんか。</p>	
<p>(2) 「心豊かな人づくり」の中には、学術研究拠</p>	

質問事項	質問の要旨
2 町中心部、次の災害公営住宅はどこ？	点の構築と書かれています。
	この計画についても、どのような内容でどのように取り組んできたか、示してください。
	(質問の相手：町長・担当課長)
	いよいよ3月28日、待望の陸上競技場跡、災害公営住宅の入居が始まります。今ごろは皆さん引越準備等で大忙しのことだと思います。
	しかし、その後に続く第2弾目となる町中心部の災害公営住宅計画がなかなか示されません。
	石浜(27年)、荒立・大道、女川駅北(27年～28年)、西区、清水・日蔭(28年)、宮ヶ崎(28年～29年)、小乗(29年)、内山、桜ヶ丘、ずい道(精査中)
	となっていますが、早めに計画を示し、心の安らぎを与えて下さい。
	また、県が「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」に15年度の災害公営住宅1万5,000戸、全戸整備を明記、と新聞に掲載されていました。この計画は女川にも当てはまるのでしょうか。
	(質問の相手：町長・担当課長)

質問者 阿部 美紀子

質問事項	質問の要旨
3 国民健康保険、医療費 免除の検討を	県内 13 市が足並み揃えて 4 月 1 日から国民健康
	保険加入者の医療費免除を再開、大規模半壊以上の
	所得の少ない世帯と、条件はあります。
	女川でも取り組むべきではありませんか。
	(質問の相手：町長・担当課長)